

市政懇談会「留萌まるごと体験・体感物語」開催結果報告

【市長あいさつ（要旨）】

- 今年の大雪では、雪がたくさん積もった地域とそうでない地域がありました。でも市民の立場からすると、「いち早く自分のところに」との思いがあります。留萌市全体のことも考えていただきながら、自分たちの地域がこれからどうしていけば良いのかを、しっかりと話し合い、意見交換をしなければならないと思い、お集まりいただきました。
- 私が、10月に、15年ぶりに行ったサハリンの男性平均寿命は、この15年で10歳近く延びましたが、天然ガスにより経済が豊かになると同時に、健康に注意するようになったことが原因だそうです。そのため、大量の農薬を使った野菜・果物ではない、安心な食べ物として、北海道の野菜を求めているのが現状です。一方で、豊富な天然ガスを使った温室栽培でマンゴーなどを生産し、北海道、日本へと売り出したいと考えています。また、天然ガスで得た利益を、次のステップとして、どういう事業を展開していくのかを考えています。私どもも、それに応えるために、旭川市を中心に道北地域として経済交流を行うときに、留萌港としてどういう利活用ができるのかなどの課題があると思います。
- かつての樺太神社の跡地では、昭和天皇が皇太子の時に植えられた一对のエゾ松が今も育っていました。サハリン州では、そこを公園として整備し、エゾ松を友好の証として守っていきたいとの話をいただきました。
- 昭和天皇が皇太子の時、海馬島（サハリン南西端の島）にも立ち寄られ、五十嵐億太郎にお会いになったそうです。五十嵐億太郎は、その際にいただいた記念のお菓子などを全て島民に配り、海馬島、サハリンにおいて五十嵐億太郎は高く評価されています。五十嵐億太郎を、私どもは誇りに感じ、その碑が千望台に建っていること、この留萌の歴史、五十嵐億太郎が活躍した時代を、市民と共に大切にしていきたいと思っています。
- 生きていくために、新しいものを生産する、新しいアイデアで新しい事業を興すことは大事なことです。
- この地域でも、水産加工業は、これまでの歴史と伝統でカズノコを中心に頑張っていますし、ピクルスの販売拡大やルルロツソの乾麺生産なども始まりました。
- そのような、新しいアイデアを市民の皆さんで共有して、支えていくということが必要ではないかと思っています。
- 色々なアイデアで色々な事業を興していくことが経済の基本であって、行政とし

でも雇用というのは一番の大事な部分であると思っています。

- ・ 残念ながら、新卒で卒業した高校生の雇用先がないということで毎年人口の減少に歯止めがかかりません。
- ・ ここでもう一度、私どもは原点に立ち返って、市民の皆さんの想い、アイデアを寄せていただきながら、地場産業の支援などを組み立てていかなければならないものと思っております。
- ・ 最後になりますけども、全て地域の皆さん方の毎日の生活が大事です。
- ・ 今後、買い物難民の人が出る可能性もありますが、地域で、行政で、守るべきものは守っていかなければならないと思っています。
- ・ 行政で限られた部分であれば、地域の皆さん方の協力をいただき、医療・介護・福祉、また公園整備や地域の色々な課題に皆さん方に協力いただいているのも、心から感謝を申し上げながら、もう一度、地域にあって深い絆で信頼関係を結んで、留萌に生まれ、育ったことに誇りを持ち、毎日の生活の中で留萌の素晴らしさに共感をしながら、次の世代にどういうまちをそれぞれの地域で残していくのか、真剣に皆さん方と意見交換をしてまいりたいと思います。
- ・ 私どもといたしましては、皆さん方の声を誠実に受け止めて行政の施策の中に反映してまいりたいと思います。
- ・ 来年度は、北海道全体でクルージングの船が今まで以上に増え、留萌のほうにもクルージングの船が来る可能性が大きくなっていることから、市民と共に船出ができる、次の世代と共に新しい船出ができる、新しい世紀にしていきたいと思っております。
- ・ 今日改めて、この時間帯にお集まりいただきました皆さん方に心から感謝を申し上げ、冒頭のごあいさつにさせていただきたいと思っております。

【新・留萌市財政健全化計画について】

- ・ 平成24年度までの決算状況を中心に、留萌市の財政状況について説明。
- ・ 市立病院の経営状況と医師確保対策としての新しい施設の建設について説明。
- ・ 温水プール「ふるも」を学校プール授業専用として一部再開することについて説明。

【るもい健康の駅の取り組みについて】

- ・ るもい健康の駅の案内、「目のコホート研究事業」「地域リスク介入研究推進事業」などの取り組みについて説明。

【留萌まるごと体験体感物語（観光編）について】

- ・ 道内外での留萌のPRの取り組み状況について説明。

【元気な農業・漁業について】

- ・ 「田んぼでななつぼしレストラン in るもい」の開催、ルルロッソ乾燥パスタ等の販売、カキ養殖試験などの取り組みについて説明。

【ごみ収集について】

- ・ クリーンステーションの整備計画や今年からのごみ分別に関して市民に協力いただきたいことを説明。

【今年の除排雪計画について】

- ・ 除排雪の実施基準や市民雪捨て場、ダンプトラック等の無料貸出制度などについて説明。

【質疑】

● 質問

市では除雪業者に対する除雪の仕方をどのように指導し、どのような取り決めがあるのか。

排雪場所の少ない町内会も多い町内会もある。高齢者住宅又は母子住宅などでは、ただ雪を押されると、玄関前の通行に支障をきたすような場合がある。

どこの町内でも、朝早くクリーンステーション前の除雪をしているが、その後に除雪の雪を置いていくと、クリーンステーションのふたも開かなくなる。

これらについての市の考え方を聞きたい。

■ 回答

業者の指導については、出動基準や路線については、地区の委託業者に指導し、仕様書などお互いに確認した中で進めています。更に、毎朝、市職員がパトロールし、その中で業者の除雪の仕方等について指導をしています。

また、地域から苦情があった場合は、業者と一緒に行って、具体的に話をすることもあります。

空き地については、地域で空き地として使える土地を探し、その地主の方と土地の使用交渉をしていますが、遠くの方などは許可を得られにくい状況にあります。

自由ヶ丘地区など近々雪懇談会を予定して地域もあるので、その中で皆さんの情

報をお聞き、また皆さんが困っていることをお聞きしたいと考えております。

平成25年度からは除雪担当部署とごみ処理の担当部署が同じ部に属することになったので、連携を取って確実に対処していきたいと考えています。

●質問

千鳥町4丁目の警察官舎の前は、市として雪の仮置き場としているのか。通学路であるが、一番酷くなると車と人は歩道の上を通行している。

■回答

市道西2条通りでは、野本町方面の市道が狭く、通り抜けできない袋小路が複数あるなど、除雪の作業上、雪が集まる状況にあります。

近くに東光小学校、留萌中学校、千望高校があり、児童や生徒が多く通ることから、他のバス路線よりも多く排雪している状況で、地形上難しい状況もあるが、極力歩道を開けていくことで対策を進めていきます。

●質問

市立病院の医療機器のメンテナンスや交換、新規の購入についての見込みと予算はどうなっているのか。

■回答

病院の改革プランに合わせて、年間5000万円の予算を基本に、古くなった機械の入れ替えや新たな機械の導入を計画的に行っています。

今年はそれとは別枠でMRIと血管造影の機械を入れ替えして、最新の医療技術で、患者の検査ができるように行っています。

●質問

温水プールの再開に2300万円かかるが、再開後に半年以上の休止期間があると、メンテナンス、配管の錆び処理などにも経費がかかる。毎年そのような経費をかけて再開するのか。

■回答

再開に必要な経費は、配管の再接続、消防用設備、プール内部の一部破損個所のメンテナンスなど、目視確認により、現段階で約2300万円を想定しています。

しかし、13年9月に完成した施設のため、今後再開した場合には、設備の耐用年数等から、それ以外にも、経費がかかる可能性があります。

また、ランニングコストについては、7～9月の間の人件費、事務費、燃料代、電気代、上下水道料を含む管理費に加え、休館中の管理費を含めて、1900万円と算定しています。

●質問

プラ製容器は、54%の不適正な分別の状態にある。以前見たDVDで間違っていたと気づいたことが多かった。全市民が映像見られるようにしていただきたい。

また、美サイクル館では、プラ製容器の作業に4名の雇用予定に対して、6名を配置しているため、プラ製容器が適正な分別が行われるよう方策をとっていただきたい。

■回答

今後、お茶の間トーク等で出向いたときに、初めに見ていただくことを考えている。また、要望があれば、貸し出しも考えています。

また、プラ製容器は、約半分が不適物で苦慮しているが、水洗いの徹底やごみの資源化の過程などを周知していきたいと考えています。

●質問

十字路の一方を除雪したときに段差が1m以上できたままで業者に放置され、高齢者が通行に苦労していた。市として、その点を吟味して直していただきたい。

■回答

除雪作業で発生する段差を解消することは当然のことで、そういう状況を放置したことは論外の話であり、きちんと指導していきたいと考えています。

●質問

市の水道事業はずっと黒字だが、水道料を下げることは考えていないのか。

■回答

市民に安全でおいしい水を配水するために、老朽化した沖見町の配水場を大規模改修を行うなど、設備投資がかかっており、今後も増毛の浄水場を改修していく計画があり、安定した経営のためには、値下げは難しい状況です。

●質問

温水プールの一部開放の対象者に、大人は含まれるのか。

■回答

小学生を対象とした学校プール授業専用での一部再開を考えており、学校授業で使わない夏季休業中は、中学生、高校生、幼稚園や保育所のお子さん、通園センターのお子さんに使っていただきたい。しかし、小さいおさんは、保護者の同伴が必要になることを含めて、一般開放については大人の方も含めて開放したいと考えています。

●質問

大人の温水プールの利用料を無料することはできないのか。

■回答

休止前も学校授業については、学校教育課程ということで減免してきました。

今回の一部開放は、学校プール授業を主体に考えており、無料を考えています。

あくまでも健全化計画期間中の2年間に限定して考え、その期間の中で、その料金の関係、その他の市民のスポーツ振興等を含めた持続可能な運営方法等について

も検討していきたいと考えています。

●質問

花園東公園には、冬期間に重機やトラックが入ってきて投雪していく。重機等の使用は程度の許可をしているのか。

■回答

公園は、冬期間に外柵を外し、住民の雪捨て場に利用できるようにしているが、個人の除雪を請け負った業者が公園に投げている事実を掴み、看板を設置したり、車両追跡するなどして業者に投棄しないようお願いしています。

どの機械まで良いということはないが、融雪時に影響のあるものについて、看板を立てて呼びかけるほか、パトロールにおいて、状況を判断して制限するなど対応していきたいと考えています。

●質問

旧市立病院横の下り坂を降りたところのゴールデンビーチの路線と交差するところは、朝、雪が深くて車で出られないことが多い。

■回答

海岸線で、短時間で吹き溜まりができる状況もあると思います。

この路線は、西海岸線通りと同じ業者のため、一体的に除雪する形で指導してまいります。

●質問

旧市立病院横の下り坂は不法投棄が多く、色々なごみが散乱している状態なので、市として監視カメラをつけるかして対策を立ててほしい。

■回答

環境推進委員にご協力をいただきながら、市内の情報をいただいています。

市でも実態を把握しており、看板やパトロールの強化をしていきたいと考えています。

【グループ意見交換】

参加者を8班に分け、各班においてグループ意見交換を実施しました。

【終わりに（あいさつ要旨）】

- ・ 楽しいことは皆一緒に楽しい。でも、苦しいことは、色々なパターンで、色々なケースがありますから、色々な地域、今年の大雪では色々な状態にありました。地域の皆さんにご理解、協力をいただきながら、何とか事故なく乗り切ることができました。

- 皆さん方それぞれ大変な冬を迎えます。ただ、私どもと、そして業者の皆さん方にも大変一生懸命やっけていただいていますから、皆さん方の声を聴きながら、その地域地域の対応をしたいと思ひますし、また高齢者や独居老人も増えています。ハンデを持った人には、地域で、そして私どもと一緒にやさしいまちづくりでありたいと思ひております。いよいよ12月はお歳暮シーズンですから、留萌のカズノコが売れるよう、留萌で獲れたものは、今年も米がおいしいようですから、どうか留萌にして、お歳暮は地元産のものを皆さんと一緒に営業をして、地域の生産高をつなげていきたいと思ひます。
- 留萌には何もないといひますけども、こんなことはありませぬ。何よりも港町留萌、人情港町留萌の、私ども留萌びとがおりますから、私どもの思いやりと優しさで、みんなの心に「おもてなし」という字を書ひて、これからも市政懇談会に大いに参加いただきたいと思ひます。
- 今日お集まりいただき、忌憚のないご意見をいただきました。
- しっかり承って、またご意見もそれぞれのテーブルで聞いたことについては、しっかり次年度の会長会議において、ご報告をしっかり申し上げたいと思ひます。
- お集まりいただきました皆さん方に、改めて感謝を申し上げまして終わりたいと思ひます。